

肺がんドック

低線量CT検査

死因の第1位はがんです

がんによる男女別死亡率順位



第1位 肺がん
第2位 胃がん
第3位 大腸がん



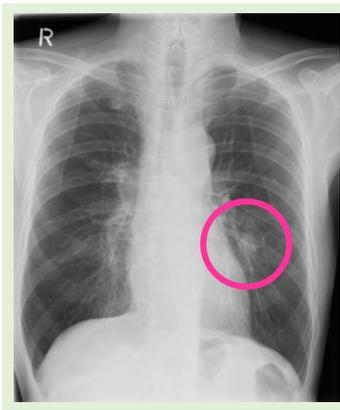
第1位 大腸がん
第2位 肺がん
第3位 膵臓がん

厚生労働省HP (2018年)

従来の肺がん検診（胸部X線写真）を受けて見つかる肺がんの中で、早期がんの割合は40.7%、既に進行し転移がある状態で見つかる場合は32.7%あります。初期の肺がんは自覚症状がなく進行がんで見つかる方も多いのです¹⁾。

CT検査を受けて見つかる肺がんの中で早期がんの割合は82~91%であり¹⁾、これは胸部X線写真に比べ、早い段階でがんを見つけやすいことがわかります。肺がんが早く発見されると治療の選択肢が増え、治る確率も高くなります。

低線量CT検査で肺がんを早期に発見しましょう！



胸部X線写真



CT画像



CTの拡大画像

喀痰細胞診

当院の肺がんドックは、胸部X線写真とCTに加えて**喀痰細胞診**（痰の検査）を行います。40歳以上の方は、年に1度の検査をお勧めします。

健康管理センターでは低線量CT検査が受けられます

- ・ 検査時間は約5分で短時間！
- ・ 被ばく線量は通常CT検査の5分の1程度に低減！

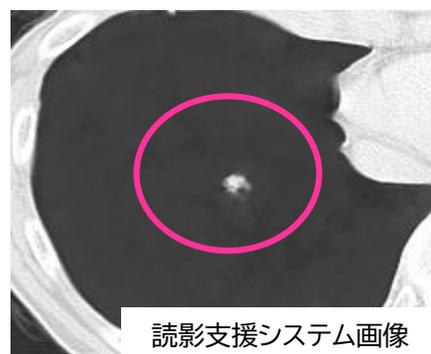
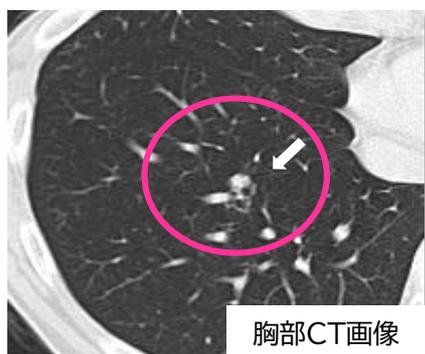


喫煙者または50歳以上の方は、**肺がんになるリスクが高い²⁾**ため低線量CT検査を受けることをお勧めします。



読影支援システム導入

当院では読影支援システムを導入しています。
正常組織と区別が付きにくい病変の見逃し防止に役立っています。



検査結果について

低線量CT検査を受けると小さい病変も見つけやすくなるため、精密検査になる方が増えます。しかし、見つかったものの全てが肺がんであるとは限りません。良性病変や肺がん以外の呼吸器疾患の場合もあります。

検査結果が要精査の場合は、医療機関を受診してください

参考文献 1) 有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン 2) 低線量肺がんCT検診の知識と実務 改訂3版

愛知県厚生農業協同組合連合会
江南厚生病院
健康管理センター

〒483-8704
江南市高屋町大松原137番地
TEL 0587-51-3311
FAX 0587-51-3313

詳細については健康管理センターへお問い合わせ下さい